

# 西岐波ふるさと発見マップ

## ～おすすめウォーキングコース～

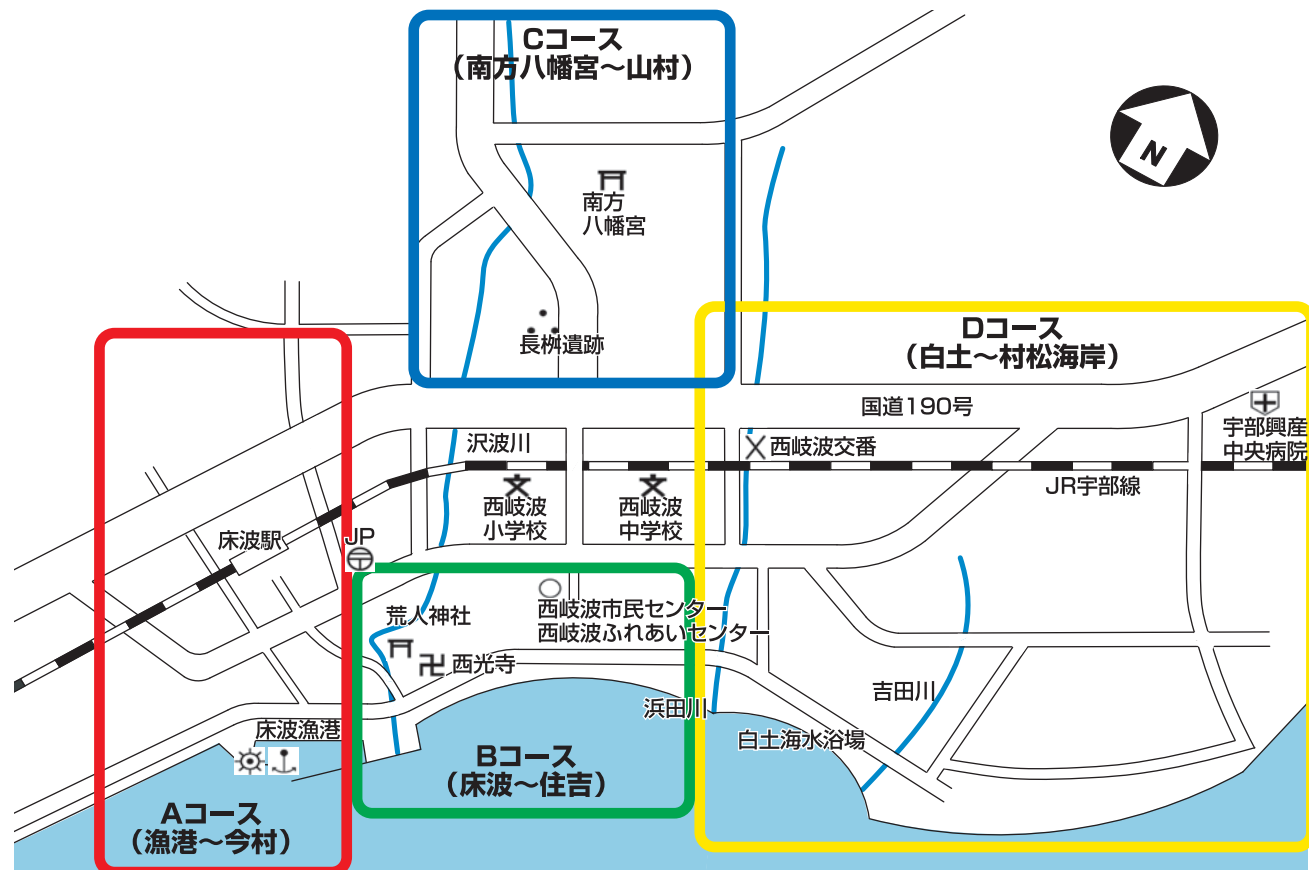
### マップの使い方

- 私たちのふるさと西岐波には、お宝(名所・遺跡・史跡)がたくさんあります。
- お宝を巡る、おすすめウォーキングコースを準備しました。
- 「西岐波ふるさと発見マップ」～おすすめウォーキングコース～を利用して、お宝を発見しながらの体力作りをおすすめします。
- 皆さんのお住まいと体力により、コースをアレンジしてください。



宇部市健康づくりキャラクター「ゲンキー」

### 西岐波校区図



## Bコース(床波～住吉)

【全1.6km】

### 【コースの特徴】

- ・約110年前まで小学校があった西岐波市民センター①を出発点・終点とするおすすめ4コースの中でもっとも短いコースです。
- ・まずお駕籠道(市民センター～荒人(住吉)神社)に足を踏み入れます。
- ・ここは今でも昔の商店街の面影が感じられるレトロなコースです②③④⑤⑥。
- ・皆さんの想像力によりタイムスリップできます。

### 【凡例】

- ① Bコース出発点・終点
- ②～⑥ コース内の名所・史跡・遺跡
- コース内の通過ポイント



ポイント	ポイント間	累積距離
① 市民センター		
↓		
② 大番様	300m	300m
↓		
③ 高礼場跡付近	300m	600m
↓		
④ 西光寺	200m	800m
↓		
⑤ 荒人(住吉)神社	200m	1,000m
↓		
⑥ 権代南向地蔵	300m	1,300m
↓		
① 市民センター	300m	1,600m



①【錦波尋常小学校跡(ぎんぱじんじょうしょうがっこうあと)】(現西岐波市民センター)  
 ・明治時代になり学制が敷かれ、明治22年に新築した校舎は今の西岐波市民センターの場所にあります。  
 ・当時は錦波尋常小学校と呼ばれていました。  
 ・市民センター裏の石門はかつての校門の名残です。



②【大番様(おおばんさま)】  
 ・正暦元年(990)10月に瓊瓊杵尊(ににぎのみこと)、木花之開邪姫(このはなさくやひめ)を奉祭し、恵美須様(えびすさま)も、併祀されています。  
 ・旧暦10月12日がお祭りで大番・鍋屋・浦安を中心にして氏子が参拝します。  
 ・お祭日には南方八幡宮により祝詞をあげます。  
 ・大番様は床波宮と書かれた小さな石室祠で、碑には大番神社と恵美須神社と併記されています。

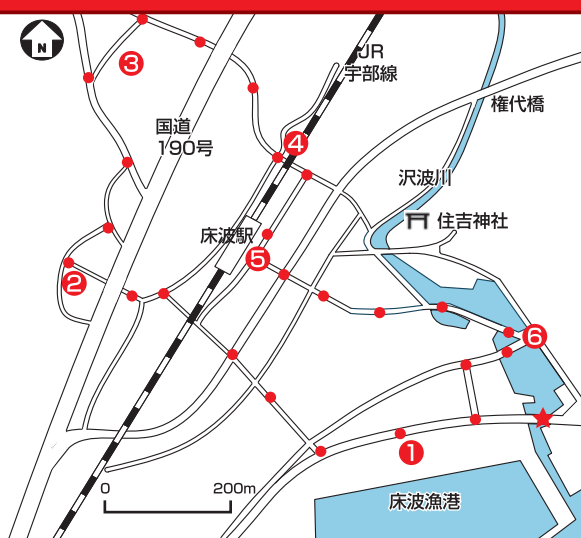


③【お駕籠道(おかごみち)】(高礼場跡付近)  
 ・市民センターから鍋屋・梶取(かんどり)・向坂を通過して荒人(住吉)神社へ行く道をお駕籠道といいます。  
 ・鎮主福原の殿様がお駕籠に乗り通ったので、こう呼ばれています。お殿様は床波浦の堂塔の高台からの眺望、四季賛歌に恵まれた瀬戸内海の風景がひとしお、お気に入りだったようです。  
 ・薬、呉服、菓子、蒲餅、醤油、たばこ、造り酒などの店が並んでいました。

## Aコース(漁港～今村)

【全2.2km】

ポイント	ポイント間	累積距離
① 床波漁港		
↓		
② 十王堂	600m	600m
↓		
③ 緑ヶ丘	400m	1,000m
↓		
④ 猿田彦大神	400m	1,400m
↓		
⑤ 床波駅	100m	1,500m
↓		
⑥ 栄橋・沢波橋	400m	1,900m
↓		
① 床波漁港	300m	2,200m



### 【コースの特徴】

- ・昔も今も活気ある床波漁港①をスタートして北上、190号線下をくぐり今村・緑ヶ丘をUターンするコースです。
- ・新浦を通り、国道の下を進みます。たちばな幼稚園から少し西側に折れた処にある十王堂②へ、緑ヶ丘③を折り返し、再び国道のガード下を南に進み、猿田彦大神④を過ぎ床波駅⑤へ。
- ・駅前の道を真っすぐ進むと沢波川下流の栄橋・沢波橋⑥です。

### 【凡例】

- ① Aコース出発点・終点
- ②～⑥ コース内の名所・史跡・遺跡
- コース内の通過ポイント



②【十王堂(じゅうおうどう)】  
 ・国道の改良により現在の地へ新設されました。  
 ・お堂の説明によると『十王とは人々が他界して、六地藏様に送られて冥土にいくと、生前の所業について十王からそれぞれの裁判を受け、初めて冥土の落ち着く先が定まると言う教義』と書いてあります。



④【猿田彦大神(さるたひこのおおみかみ)】  
 ・瓊瓊杵尊(ににぎのみこと)が天孫降臨する際、天八衢(あめのやちまた)に迎えに出て地上の高千穂峰への道案内を務めました。  
 ・このことから道案内の神、物事の初めに災害を祓い、万事最も善い方に導いてくれる神として信仰されるようになりました。



⑥【栄橋・沢波橋(さかえはし・さわなみはし)】  
 ・地図★(港大橋)より臨む景色です。  
 ・沢波川には多くの橋がかかっていますが、この眺めは昔から栄えていた港の風情があります。



⑥【権代南向地蔵(ごんだいみなみむきじぞう)】  
 ・鎌倉末期の応永年間(1400年代)の頃、この付近は沢波川河口であり、往来には渡し舟を使っていたようです。  
 ・潮の干満の差が激しく季節によっては海が荒れ、そのため犠牲者も多く出ました。またこの川の水を生活用水として使っていたところ水質が悪く、疫病が流行したようです。  
 ・それぞれの霊を慰め安全を祈って出羽(でわ)の国の僧、瑞石禪師が地藏様を建立したところ事故がなくなり、病氣も退散したと伝えられます。



⑤【荒人神社(あらひとじんじゃ)】(住吉神社(すみよしじんじゃ)とも)  
 ・天平勝宝3年(751)厚東武忠公、石の玉殿を建立して住吉大神を奉斎すると伝わります。  
 ・祭神は底筒男命(そこつつおのみこと)、中筒男命(なかつつおのみこと)、表筒男命(うわつつおのみこと)です。  
 ・恵美須神社(漁業繁栄・商売繁盛)、祇園社(疫病退散・子どもの守神)の各合殿となっています。  
 ・本殿の左に慶応元年(1865)に造られた、神社の由来と「床波」の由来が彫られている立派な石碑があります。



④【西光寺(さいこうじ)】  
 ・山号を海印山という真宗のお寺で、開基は蓮正といわれます。元上野国の住人であるが大内義隆の時代に山口に来た僧です。  
 ・西光寺は床波に移る前には常盤池あたりにあり、元禄年間の常盤池構築の際に移転したといわれています。  
 ・床波の丘に本堂を建てたのは寛永元年(1624)と注進案に書かれています。

### 西岐波の昔と今

南方八幡宮のある台地など西岐波の色々なところから石器時代～縄文時代(今から約1万年～1500年前)に使ったと思われる石器が発見されました。西岐波に数ある遺跡は全国的にも有名です。

江戸時代の西岐波は、今の東岐波と合わせてひとつの村で「岐波村」と呼ばれていました。明治12年(1879)に西岐波と東岐波に分かれ、吉敷郡「西岐波村」が生まれました。

「床波」は、その昔宇佐八幡宮より帰る和氣清麻呂(わけのきよまろ)が、荒れた海の上からはるか岸辺に見える住吉さまを見て折ったところ、床の上を滑るように海の波が静かになったことが、由来のようです。

大正時代の終わりの頃昭和の始めにかけて「宇部」は石炭で発展したため村から一躍市になり、昭和18年に西岐波村も宇部市に加わり「西岐波区」と呼ばれるようになりました。

今からおよそ300年前までは、今の権代橋(権代橋)あたりは沢波川の河口で、現在の西岐波の中心である床波は芦(あし)の生える湿地でした。そこで人々は池を作ったり川を掘ったり海岸を埋め立てたりして、田や畑を増やしました。

昭和53年に常盤小学校が、平成元年に川上小学校が開校したので、西岐波小学校校区は「西岐波区」から現在のように変更されました。

平成18年の住居表示によって「床波」の地名が戻ってきました。



# Cコース(南方八幡宮～山村)

(全2.6km)

ポイント間	累積距離
① 南方八幡宮(駐車場)	400m
② 師井の生墓	400m
③ 長樹遺跡	200m
④ やぐら山	700m
⑤ 沢波川河畔(東和町自治会館前)	800m
⑥ 四十段	300m
⑦ 南方八幡宮	200m
⑧ 南方八幡宮(駐車場)	2,600m



**【コースの特徴】**

- 南方八幡宮駐車場①を出発点とするコースです。
- 太古から栄えた丘陵地帯②③を通り、やぐら山④の坂を下ります。
- しばらく沢波川河畔⑤を通ります。
- 交通量が多い農免道路までは北上せず、少し南側にある、小道を通って四十段⑥へ、ここから南方グラウンドを通り南方八幡宮境内⑦に入ります。
- 静かなコースです。

**【凡例】**

- ① Aコース出発点・終点
- ②～⑦ コース内の名所・史跡・遺跡
- コース内の通過ポイント



**②【師井の生墓(もろいのいけばか)】**

- 山村公会堂のそばに地蔵様があり、その後ろに直径3m位の半球状の墳墓が並んでいます。
- 注進案にはこの5個(実際は6個)ある墓の中に黄金を埋めた墓が1か所あると伝えられており、ある時泥棒がこの墓の下を掘って宝物を盗もうとすると忽ち命を失ったとあります。
- このことから師井の霊は生きていたのだとか。



**③【長樹遺跡(ながますいせき)】**

- この遺跡は通称宇部台地と呼ばれる洪積段丘から、沢波川に向かって西にのびた丘陵地に位置します。
- 主な遺物には後期旧石器時代(約2万～1万3千年前)に属するナイフ形石器、細石器、細石刃、搔器や縄文時代早期(約9千年前)の遺構、土器片(ナイフ形石器や石鎌(矢じり)など)があります。



**④【やぐら山】**

- 注進案によると『中世(今から約700年前)に師井という人が山村に城を築いていた。昔は南から北へ堀があって、東は山村の台地につながっていた』と書かれています。
- 土地の長老の話では、「城から東の方に抜け穴があった」ということです。やぐらとは見張りをする物見櫓か、矢を保存する矢の倉だったのかはわかりません(写真は★から臨む)。



**⑦【南方八幡宮(みなみがたはちまんぐう)】**

- 山村の丘陵地にあり、應神天皇、仲哀天皇、神功皇后、などが祀られています。
- 天平勝宝3年(751)厚東武忠の四世、白松太夫武綱が宇佐八幡宮(大分県)から神を招いて東岐波の古尾にお社を建て、その後、北方(北方八幡宮:山口市)と南方(当地)に分けたとされています。



**⑥【四十段(しじゅうだん)】**

- 南方八幡宮へ西側(片倉、請川地区)からお参りする路です。
- さて階段は何段あるでしょうか。



**⑤【沢波川河畔(さわなみがわはん) (東和町自治会館前)】**

- 川面を泳ぐ鯉を眺めるのもよし、川は季節によって色々な顔を見せてくれます。

# Dコース(白土～村松海岸)

(全5.4km)

**【コースの特徴】**

- 白土海岸シャワー室①を出発点とするコースで、おすすめ4コースの中でもっとも長いコースです。
- スタート後少し西に寄り和智元郷の墓②へ、浜田川河畔を北に進み、西岐波交番を東へ、しばらくは国道沿いに歩きます。
- 中央病院の手前を南に折れ、道なりに直進、権現様③に寄り道して村松海岸へ、これよりは海岸沿いです。
- 煉瓦工場跡④、獄ヶ鼻⑤、沖ノ須賀古墳⑥などを垣間見ながら、瀬戸内海の景色とさわやかな潮風を楽しむことができます。

**【凡例】**

- ① Bコース出発点・終点
- ②～⑥ コース内の名所・史跡・遺跡
- コース内の通過ポイント



ポイント間	累積距離
① 白土海岸(シャワー室)	200m
② 和智元郷の墓	200m
「浜田川」	600m
[西岐波交番]	800m
③ 権現様	1,500m
④ 煉瓦工場跡	2,300m
⑤ 獄ヶ鼻(村松海岸)	1,300m
⑥ 沖ノ須賀古墳	3,600m
⑦ 白土海岸(シャワー室)	200m
⑧ 白土海岸(シャワー室)	5,400m



**①【白土海岸(しらつちかいかん)】**

- ひと昔前の夏は海水浴客で賑わっていました。
- 現在は潮干狩りや海岸の景色を楽しむスポットとして、多くの行楽客が訪れます。



**②【和智元郷の墓(わちもとさとのほか)】**

- 約250年前、毛利家に従い山村領主となり浜田川の水源、真河内(さなごうち)溜池を大改修し、地域の発展に功績を残しました。
- 溜池は50町歩の水田をうるおす農業灌漑用水池で、農民の協力を得て完成したと言われていいます。



**③【権現様(ごんげんさま)】**

- 灯笼に文化7年(1804)と刻んであります。昔、ある一族が御前様を家の守り神として奥州路からこの地に住みつき、大繁昌したと言われます。
- 昔から宿場の中継地で、大正13年頃までは駅馬車が阿知須まで一日2往復していました。



**⑥【沖ノ須賀古墳(おきのすがこふん)】**

- 昭和49年に西岐波白土海岸の市道拡幅工事現場で発見されました。
- 吉田の砂浜上に砂を掘り下げて構築されており、今から約1600年前の古墳時代と思われる、平たい石を組み合わせて箱型にした組み合わせ式石棺墓です。
- マップのポイントに古墳を見つけることはできませんが、西岐波小学校中庭に復元されています(写真)。



**⑤【獄ヶ鼻(たけがはな)】**

- 昔、修験者の聖地であったと伝えられており、明治27年には雨乞いの祈願が行われ、これを感謝する碑文も残されています。
- 大正後期から、獄ヶ鼻周辺には煉瓦工場ができ、ここから船を使って盛んに出荷されていました。
- 当時潮むし風呂やいけす料理店もあって随分賑やかだったと語り継がれています。
- 今は出荷場の石組しか残っておらず、当時を推測するのも難しいですが、180度見渡せる周防灘の景色を目の前にすると、地球が丸いことを実感できる場所でもあります。



**④【煉瓦工場跡(れんがこうじょうあと)】**

- 村松、吉田、丸尾原(東岐波)一带には良質な粘土があり、大正後期にこれを原料とした煉瓦(赤煉瓦)工場が設立されました。
- 最盛期には海岸沿いに4工場もでき、遠くは九州、四国、大阪方面にも出荷されていました。

## にしきわ音頭

四、周防片倉 北向地蔵  
お礼参りの ご縁日  
あつい情けの 湯煙りに  
笑顔 うれしい お湯の宿

三、つくる野菜と 沢庵漬は  
引く手 あまたの 味のよさ  
人は 住みよい 暮しよ  
ベット タウンの 窓あかり

二、浜は白土 なぎさの砂に  
夏は 水着の 花が咲く  
誰を松風 常盤湖に映  
遊ぶ白鳥の 仲の良さ

一、瀬戸の朝風 黄金の波に  
みなと 床波 たから船  
真鯛 黒鯛 いきいきと  
みんな仲間に ひとおどり  
踊れ 西岐波 音頭で踊りやる  
どんと どどんと 盛りあがる  
宇部をささえる ころろ意気

市川常晴作詩/石本美由起補作詩  
滝田昭作曲/甲斐靖文編曲

都はるみ  
コロムビア・オーケストラ

## 名所・遺跡・史跡について

名所など写真の下には、紙面の都合上短く解説しています。詳しいことをお知りになりたい方は、西岐波ふれあいセンターに資料がありますのでご利用ください。

また、短い解説で正確に伝わるよう十分に配慮しておりますが、もしご意見がございましたら、次の機会に反映させたいと思いますので同センターまでご連絡ください。

説明の中に多く出ている『注進案』とは正しくは『防長風土注進案(ぼうちようふうどちゅうしんあん)』といい、今からおよそ1700年前に毛利藩が作成した防長二州全域の各村の沿革・地理・産業・経済・社会・習俗等の実態を細もろさず綿密に調査した記録です。

山口県のみならず、わが国の近世史研究上でもきわめて高く評価されている第一級の史料集です。

## ウォーキングについて

今より、もう1000歩増やしましょう

- 身体活動(動くこと)の必要性を知ろう
  - 体を動かすことって気持ちいいよね
  - 1人より仲間と一緒にだと、もっと楽しいかも
- 自分に合った身体活動量を知ろう
  - 自分に合った運動量を知ってる?
  - 「無理なく、少し汗をかく程度」が大切だよ
- 身近な所で、ウォーキングなど運動をしよう
  - 身近な校区単位の、ウォーキングコースを作っとうよ
  - いろんなところを歩きたいよね
  - 運動することは健康への第1歩だよ

宇部市健康福祉部健康推進課 ホームページより

## 編集後記

このマップは、平成21年5月に結成した西岐波ウォーキングマップ作成委員会・同史跡マップ作成委員会が作成したものです。

マップにはふるさと西岐波の歴史的・文化的建造物や記念物・古くから言い伝えられている名所・遺跡・史跡を選定しました。

宇部市健康づくり計画アクティブライフ(～動こう、つかもう、私たちの健康～)によると一日の運動量として1000歩増やすことを目標としており、おすすめウォーキングコースは無理のない健康づくりに配慮してあります。

ウォーキングは継続することによって効果があると言われる。明るく声を掛け合って楽しみください。

作成 平成22年5月  
作成者 西岐波ウォーキングマップ作成委員会  
西岐波史跡マップ作成委員会  
発行者 宇部市教育委員会